



国見っ子

令和3年度 第8号
国見町立国見小学校だより
令和3年 8月31日
発行者 校長 本多 康弘

2学期がスタートしました

いよいよ2学期がスタートしました。学校には、子どもたちの元気で明るい笑顔が戻ってきました。今年の夏休み期間も、テレビのニュースや新聞等には、感染症の話題が尽きることはありませんでした。その一方で、オリンピックの話題、災害を引き起こした長い雨などがありました。最近では真夏を思わせる暑い日が続いています。



2学期も引き続き感染症に関しては、学校やご家庭でも、もう一度感染予防に正面から取り組まなければなりません。第一に予防です。加えて気温の高い日が続いておりますので、熱中症対策とともに、健康管理、マスクの着用、手洗い、そして密にならないよう継続して指導していきます。本県でも、感染症拡大の状況にあり、さらに、デルタ株が加わった第5波の今後を予想できません。これまで同様、ご家庭のご理解とご協力をいただきながら感染症対策の徹底を図っていきます。なお、過日文書にてお知らせしましたように、学校行事の延期・中止をせざるを得ない状況下にあります。急な変更・中止についてもご理解くださいますようお願いいたします。

さて、この夏休みは家庭団らんの大事な時間になったかもしれません。子どもたちが、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんと一緒に時間を過ごすことも多かったのではないのでしょうか。家族団らんの時間は、子どもたちの家庭生活の充実につながっていったことと思います。

そのなかで、話題の一つにお父さん、お母さんのお仕事にかかわるものがあつたのではないのでしょうか。これからの未来で自立した社会人として生きていくためには、一人一人の成長・発達の過程における様々な経験や人との出会いなどが総合的にかかわってきます。そのため、生活時間の多くを占めるご家庭でも子どもたちがご家族の方に直接お話をいただき、生き方や社会への参画の仕方などを学ぶ機会をもつことで、社会人として必要な自立性や社会性がはぐくまれることになります。

もう一つ、この夏の大きな話題は、2020東京オリンピック競技大会でした。福島でも野球とソフトボール競技が開催されましたが、画面をとおしての視聴となりました。オリンピックでは、メダルに輝いた選手の素晴らしい活躍はもちろんですが、一流のアスリートの真剣な表情や笑顔や涙は、画面をとおしても、私たちの心を動かし、たくさんの感動を与えてくれました。現在、パラリンピックも開催されており、共生社会のあり方も意識するきっかけをつかむことは、たいへん意義深い学びになると考えられます。

この2学期は、大きな行事もたくさんあります。行事を通して、集団活動の意義を理解し、個性の伸長を図り、社会で生きていくための自覚を深めるなど、体験のなかで学ぶことがたくさんあります。感染症の見通しがもてないところではありますが、「できること」を探しながら子どもたちの学ぶ機会を失うことのないように、工夫しながら実施していきます。

2学期もiPadを活用した学習を進めています

文部科学省によるGIGAスクール構想推進のため、本校でも一人一台の端末iPadが貸与されました。2学期になり、各学年において端末を活用した学習を少しずつ進めています。子どもたちも学習アプリを活用しながら、意欲的に学習に取り組んでいるところです。

今後、感染症の拡大状況により、児童への学習指導に活用するとともに、端末の持ち帰りも想定しています。このことにより、保護者の方のサポートが重要になります。この機会に、子どもたちへ情報端末の使用にあたって、情報モラルや健康管理についてご指導をお願いいたします。



